



## 気候フォーラム

「地球の未来のために 気候の変動と予測～その現状と課題～」

日 時：平成6年1月29日（土） 13時30分～17時  
 会 場：千代田区公会堂（東京都千代田区九段南  
 1-6-17）

主 催：気象庁，日本気象協会

参加費：無料（先着900名）

問い合わせ先：気象庁総務部企画課気候変動対策室  
 TEL 03-3212-8341（内線2263）

### 第一部 基調講演

- ① 「気候変動の実態」（仮題）  
 山元龍三郎 京都大学名誉教授
- ② 「気候と二酸化炭素」（仮題）  
 田中 正之 東北大学理学部長

③ 「コンピュータシミュレーションはどこまで気候を予測できるか」（仮題）

時岡 達志 気象研究所気候研究部第一研究室長

第二部 パネルディスカッション（不確実性と今後の課題）

コーディネーター

松野 太郎 東京大学気候システム研究センター長

パネラー

上記講演者及び

二宮 洸三 気象庁長官

編集後記：早いもので、表紙のデザインを一新した Vol. 40 も No. 12 をお届けすることになりました。何時もですと、12月号は年が明けてからの配布となりますが、第28期の役員選挙の告示掲載の関係から年内の発行が必要となりました。ご承知のように、来期役員の選出方法が変更され、春の総会前に役員候補を選挙しなくてはならなくなりました。その日程を睨んで、選挙告示掲載の12月号を年内に会員に配布するための処置です。年末年始の印刷や郵送事情を勘案して編集も大幅に繰り上げざるをえませんでした。内容には

遺漏のないように万全を期したつもりです。

残務整理は残っておりますが、最後の IAMAP も無事に終了しました。最後のに奇異の感を持つ会員もいると思いますが、次回からは IAMAS (International Association for Meteorology and Atmospheric Sciences) と改名されることになりました。全会員の支援の下に気象学会が主催したこの国際会議の全容を特集した Vol. 40 の特別号を今年度中に発行するよう、その準備を進めておりますのでご期待ください。

（関口理郎）